



@幸せな贈り物

私たちを
おそれさせる
ことは

銃 ではありません

神弓-KAMIYUMI- / 最終兵器弓

1636年、清の李氏朝鮮（朝鮮）侵攻で起きた丙子胡乱、国家の無力さのゆえに50万人の捕虜が清に引きずられて行った、韓国にとっては最も屈辱的な歴史です。全世界で起きている銃器事件とテロを見ながら、丙子胡乱をもとにして2011年に封切られた映画「神弓-KAMIYUMI- / 最終兵器弓」の中に出る対話を思い出します。

クライマックスの場面で、主人公のナムイの妹を人質としてつかまえていった清の敵将チュシンタとナムイとの最後出合い。チュシンタが尋ねます。「こわくないのか」弓をかまえているナムイに向かって、チュシンタはまたこのように尋ねます。「風を計算しているのか」そのとき、はじめてナムイが口を開きます。「恐れは直視すればそれだけのこと、風は計算するのではなく克服するのだ!」

今日、地球のあちこちで銃器事件により起きている恐れの中...

4月15日、1897年から始まって全世界2万人以上が参加するアメリカのボストンマラソン大会で起きた爆弾テロ事件で、3人が亡くなって、180人を越えるケガ人が発生しました。3千人あまりの死傷者を出した2001年9・11テロ以後、多くの死傷者と被害がまた再び都心の真中で発生したので、アメリカをはじめとする全世界にテロの恐怖を抱かせました。

2011年07月23日、ノルウェーのウトヤ島で起きた銃乱射事件、この事件で69人の青少年が死にました。この日、ウトヤ島では毎年夏に労働党が主催する青少年キャンプが開かれていました。キャンプは14~25歳の青少年を対象にスポーツ・政治討論などで進行されて、600名あまりが参加していました。警察服を着て島に入った野菜農場主人プレイビク(32)は、青少年に近付いて「話があるのでこちらに集まりなさい」と大声を張り上げました。芝生の片隈に青少年が集まったところ、彼は何の話もなく、突然小銃を持ち出して銃を乱射し始めたのでした。プレイビクはまったく情け容赦がありませんでした。警察特攻隊が犯人を制圧したとき、10代の青少年の死体が乱雑に広く散らばっている地獄に変わっていました。

韓国にも、このようなぞっとする銃乱射事件があったことを知っていますか。1982年4月26日に現職巡査であるウ・ポプゴンが銃を乱射して、95人の死傷者を出した事件です。ウ・ポプゴンは、慶尚南道のウリヨンゲン警察署所属現職巡査として1982年4月26日に同居し

ていた女性と言い争いをしたあと、興奮状態で犯行を行いました。午後7時半に予備軍武器庫からカービン小銃2丁、実弾129発、手榴弾6発を持ち出して、郵便局で仕事をしていた電話交換員を殺害して、外部との通信を断絶し、コンリュウミヨンの4つの村を歩き回りながら銃を撃って手榴弾を爆発させました。深夜12時をすぎて、ウ巡査は銃乱射を止めて、ピョンチョンリの、ソさんの家に入って一家5人を起こしたあと、明け方5時頃に手榴弾2発を爆発させて自爆しました。この事件で住民62人が死亡するという残酷な事態になり、33人が重軽傷を負いました。この事件は「短い時間に最も人をたくさん殺した単独殺人犯」として世界キネスブックに登録されました。

2006年 IANSA が報告したことによれば、毎年全世界で30万人が銃器関連事故で死亡し、百万名が負傷をしているということです。銃器類による死者が最も多い危険な国は、ロシア、メキシコ、ブラジル、エクアドル、ベネズエラ、パラグアイ、南アフリカ共和国、コートジボワール、アルバニアなどが含まれています。アメリカには、現在、銃器が3億1000万丁があり、2013年1月現在、49%の家庭が銃器を保有しているということです。

しかし、銃が恐ろしいのではなく、

銃を持っている人の心を握っている、その何かが人を恐れさせるのです。

もう21世紀の地球にはテロと通り魔殺人、あらゆる災いと犯罪から安全なところはないと悟られます。特に、犯人が「孤独な極端主義者 (lone extremist)」のヘイトクライム (憎悪犯罪) としてあらわれていて、全世界にもう一度警鐘を鳴らしています。2007年4月アメリカのバージニア工大銃乱射、1995年4月アメリカのオクラホマ州政府庁舎爆弾テロ事件なども、すべて憎悪からはじまった犯罪でした。問題は、このようなヘイトクライムを防ぐ良い対策がないという点です。

地球滅亡よりさらに現実的に個人にぶつかってくる突然の犯罪と災い、どのように解決することができるのでしょうか。

聖書は、人間のはじまりと終わりがのろいと滅亡ではなく、永遠の祝福であったことを語っています。魚が水の中で生きて、木は土地に根をおろして生きるように、人間は本来、神様のかたちとして創造されて、神様とともにいながら、万物を治めて生きるように祝福されていました。

ところが、目に見えない悪い存在 (サタン) にだまされて、神様を離れる罪を犯すようになり、そのときから、人間の運命はサタンに左右されて、罪とのろいと苦しみの中に陥るようになったのです。理由のないむなしさと不安が訪ねてくるようになり、幸せを求めてもがいて犯罪とのろいの中に陥るようになりました。人間は、この問題を解決してみようと、あらゆる努力をつくしてみるのですが、善行や哲学、宗教、倫理、道徳でも解決することはできません。

それゆえ、神様が道を開いてくださいました。エデンの園で神様との約束を破って離れて、サタンののろいの中で生きていかなければならなかったときも、神様は人間のための安全地帯を約束されて、全人類が減ぼされた大洪水の中でも、神様は安全地帯を備えてくださいました。人間が解決することができない原罪、その結果に訪ねてきたのろいと災い、運命と宿命、目に見えないサタンの働きを解決するキリスト (Christ) を送ることを約束してくださったのです。そして、キリストがこの地に來られて、人間の罪をあがなうために十字架で罪のない体で死んで、キリストという証拠で復活してサタンの権威を打ち破ってくださいました。私たちがまだ罪人であった時にキリストが私たちのために死なれたことよって、神様が私たちに対するご自分の愛をあきらかにしてくださったのです。人間が神様に会える道、すべての罪とのろいの災いから解放される道、サタン (悪魔) のしわざを打ちこわして、その手に捕まって奴隷になっていた者たちを解放する道になってくださいました。聖書は、その方がイエス様だと語っています。イエス・キリストを信じて、私の人生の主人として受け入れるとき、すべてののろいと災いから永遠に解放される神の子ども祝福を味わうようになります。「あなたは大切な人です」

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、
わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、
さばきに会うことがなく、死からののちに移っているのです。(ヨハネ5:24)

不幸の根源

霊/的/問/題を ご存知ですか

アメリカの時事週刊誌<タイム>Time は、世界で最も影響を与えている 100 人に、北朝鮮のキム・ジョンウンを含めました。国民の劣悪な人権と飢えの中で、脱北者の行列と餓死者はますます増え、飢えに疲れた軍人の盗みと脱営は、ますます激しくなっているということです。最近、ワシントンタイムズは、現在の北朝鮮は、全世界 30 カ国あまりに 140 億ドルの規模の借金をして、その中でキム・ジョンウンの家族は、ヨーロッパ国家銀行に 10 億ドルの秘密口座をもっていると明らかにしました。イスラエルを脅迫しながら、イスラエルの中に私に勝てる者がいるなら、出て来いと大声を張り上げたゴリヤテは、神様を信じるダビデという小さな少年の投げた石の前に、力なく倒れてしまいました。彼は力強い将軍ではなく、自分がだれなのかを知らない霊的問題 Spiritual Problem に苦しめられた孤独なひとりの人ただです。最近、新聞でキム・ジョンウンが絶対に南へ侵略できない理由がひとつさらにできたというジョークを見ました。あちこちに、部隊という名がつくチゲに、鉄砲という名がつく一杯飲み屋、神風という名がついたタクシー、家には核家族があって、あちこちで爆弾酒を作る韓国が、鍋まで「圧力鍋」で武装したという冗談話でした。人間の本质をのがして、狂った人生を生きていくようにさせるなにか、それを聖書は「霊的問題」語っています。

その霊的問題の始まりと終りは次のとおりです。

人間は必ず神様に会うように創造されました。ところが、人間が神様を離れた以後、訪ねてきた問題、サタン手に掌握されて苦しみを受けるはじめた問題が、霊的問題であり原罪です。何の過ちもないのに、みなさんの家に繰り返して訪ねてくる問題が、霊的問題です。その後、引続き精神問題、肉体問題、家庭問題、来世の問題、次世代の問題がくるようになります。このようにさせた張本人が、サタン Satan という霊的存在です。聖書は、このサタンが偽りの父で、滅ぼす者だと確かに明らかにしています。

人間は、サタンの権威に勝つことができないので、神様はイエス・キリストをこの地に送ってくださいました。霊的問題の根本の根を解決してくださるのです。イエス・キリストは、神様に会う道になりました。(ヨハネ 14:6) すべての罪とのろい、生年月日による運命、宿命から解放される道になりました。(ローマ 8:2) サタン(悪魔)のしわざを打ちこわし、その手に捕まって奴隷になっていた者を解放する道になりました。(1ヨハネ 3:8、ヘブル 2:14-15) イエス・キリストを信じて受け入れるとき、神の子どもになって、すべての苦しみとサタンの手から解放されて、霊的問題に勝つようになるのです。

「罪を犯している者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。」(1ヨハネ 3:8)

神様の子どもになる
受け入れの祈り



愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの
毎日の祈り



父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

あなたの考えは どうなのか



ユダヤ人の教育法は質問法だ。私たちは子どもが学校に行っても、正しい生活をする学生になって、騒がないでおとなしく先生の教えを聞いてくれば良い勉強をしたと感じている。しかし、ユダヤ人は、子どもが学校に行って何の質問をしたかを重要に考える。イエス様もユダヤ人なので、こういう方式で弟子たちを養育された。ピリポ・カイザリヤで人々がわたしのことをどう思っているのかと尋ねられて、弟子たちにもわたしをだれだと思うのかと尋ねられた。また、神殿の税金を出す問題を置いて、ペテロに「あなたはどう思いますか」（マタイ 17:25）と尋ねられた。このごろの人は考えがない。若者たちがより一層そうである。それで、教会で恵みを受けても、自分の考えの整理ができず、フォーラムがうまくできない。その理由は総体的に考えさせる教育が足りないためであるが、それは現在まで一方的知識伝達教育に習熟してきた結果だ。私たちに知識は必要なことだ。しかし、まことの人間の生活は知恵を得ることにある。イ・チソンの<リーディングによってリードしなさい>という本を読みながら、なくした人生の決着を見つけたような新鮮な衝撃を受けた。私たちの教育は重要だが、過去を知ってこそ、今日を生きて、未来を迎えられるためだ。人類を指導してきた教師の本が、私たちの間接経験になるが、私たちはとても現実的な本に頼って生きるのも、天才の経験を持つこともできない普通の人の枠の中に留まっていることが発見できた。

聖書は霊的な本なので、人文の古典の隊列の中にあっても、神様の力につながる祝福になる。古典としての聖書を知っていることは、神様を知っていることであるから、その価値と祝福は到底話すことができない。人文古典は、数百年や千年以上の時間の中で人類を指導して生かした本なので、その価値ははてしなく無尽だ。その本は、人間としての価値を持つのに十分な規律と最善の生活を提供する柱になる。その本の指導のなかで、人間は人間らしさを取り戻し、人間の本分を成し遂げる。その根幹が、文学であり哲学であり、歴史である。その価値を知っ

ている人は、歴史以来、人文古典学習を忠実にして、その実はとても大きな結果をもたらした。それで、私たちも人間の価値のために、人文古典で生活をたてて、聖書でたましいを生かす答えを味わわなければならない。人文古典は、毎日着実に読む習慣が必要である。初めには通読するようにして、本の全体内容を調べながら流れを把握する。その後には、単語と文章を理解する時まで、何度か繰り返しながら精読する。このとき重要なのは、いくら理解するのが難しい部分が出てきても、必ず最後まで分かるよう努力しなければならないという点だ。また、重要な内容や理解しにくい部分は、アンダーラインを引いておいて、次に読むとき、もう一度調べることによって、本の内容をさらに正確に把握するようになる。その次は、古典を直接、書き写しながら読むのだ。ここで重要なのは親の役割だ。親がまず、読書する風土になるべきで、考えを分かち合うことで案内者になるべきである。次世代の考えを育てるためには、親や教師がそばで適切な質問をした方がよい。本の中で発見できた事実に対して「あなたの考えはどうなのか」といろいろな角度で質問すれば、子どもの考えを育てていくことができる。聖書の古典 66 巻と人文古典 100 冊に挑戦しなければならない。たましいを生かす聖書と肉的部分を回復する人文古典を通して、次世代の規律をしっかりと握って、私たちに与えられた答えを捜し出すべきある。神様に会うことができなくて無知だった形而下学の哲学を無視するのではない。神様に会う道の美しい包装材として、人文古典を見つけて、大変だが形而上学である救いの道具として世の中の人々を生かす答えを発見しなければならない。

チョン・ヒョングク (福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ